

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】 専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数							非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数			
健康科学 部リハビ リテーシ ョン学科	12 人	5 人	5 人	5 人	27 人	23 人	21 人	0 人	30 人	17 人
—	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人
計	12 人	5 人	5 人	5 人	27 人	23 人	21 人	0 人	30 人	—

【自己評価 1-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授で きる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の 知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以 上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以 上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員			
				氏名	職名 (専任・ 兼任)		
基礎	科学的思考の基礎	学びの技法	3	小山 充道	専任		
			2	佐藤 公博	専任		
			3	和田 義哉	専任		
		理解と表現	3	小山 充道	専任		
			3	大池 京子	専任		
			6	富永 尋美	専任		
			6	榮 志津江	専任		
			3	和田 義哉	専任		
			5	世古 俊明	専任		
			5	小川 峻一	専任		
		生命科学概論	8	曾我部 いづみ	専任		
		自然科学概論	3	山中 正紀	専任		
			3	隈元 庸夫	専任		
			2	久保 勝幸	専任		
		統計学	8	佐々木 努	専任		
		生物学	8	曾我部 いづみ	専任		
		基礎生化学	15	曾我部 いづみ	専任		
		物理学	8	和田 龍彦	兼任		
		基礎	人間と生活	社会貢献の方法と実践	8	町田 丸美	兼任
				情報学	8	松田 竜幸	専任
心理学	15			小山 充道	専任		
倫理学	8			堀 雅彦	兼任		
応用倫理学	8			和田 義哉	専任		
思想の歴史	8			富永 尋美	専任		
	8			榮 志津江	専任		
歴史学	8			井上 将文	兼任		
北海道の医療と社会・経済	8			佐藤 公博	専任		
文化人類学	8			内藤 順子	兼任		
生命科学概論	8			曾我部 いづみ	専任		
スポーツ・レクリエーション学	8			瀧澤 一騎	兼任		
基礎英語	15			大池 京子	専任		
	15			大田原 裕紀	兼任		
英会話	15			大池 京子	専任		
英語ライティング	15			大池 京子	専任		
保健医学英語 I	15			大池 京子	専任		
	15			大田原 裕紀	兼任		
保健医学英語 II	15			大池 京子	専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
基礎	社会の理解	倫理学	8	堀 雅彦	兼任
		応用倫理学	8	和田 義哉	専任
		現代の社会と人間	8	佐藤 公博	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び 心身の発達	人体構造機能学Ⅰ(筋・骨関節系)	23	鈴木 大輔	専任
		人体構造機能学Ⅰ(神経系)	15	鈴木 大輔	専任
		人体構造機能学Ⅰ(内臓・脈管系)	9	信太 雅洋	専任
			6	森野 陽	専任
		人体構造機能学Ⅱ(筋・骨関節系)	10	伊藤 俊輔	専任
			10	鈴木 大輔	専任
			4	久保 勝幸	専任
		人体構造機能学Ⅱ(神経系)	15	鈴木 大輔	専任
		人体構造機能学Ⅱ(内臓・脈管系)	20	信太 雅洋	専任
			10	森野 陽	専任
		人体構造機能学実習	24	伊藤 俊輔	専任
			9	佐藤 公博	専任
			9	久保田 健太	専任
			24	小川 峻一	専任
			24	世古 俊明	専任
			30	鈴木 大輔	専任
			6	信太 雅洋	専任
			12	久保 勝幸	専任
		運動学	12	小林 匠	専任
			8	隈元 庸夫	専任
			14	山中 正紀	専任
		運動学演習	8	久保 勝幸	専任
			27	伊藤 俊輔	専任
			27	世古 俊明	専任
			39	隈元 庸夫	専任
			3	信太 雅洋	専任
			30	山田 恭平	専任
30	山中 正紀		専任		
3	小林 匠		専任		
27	佐藤 公博	専任			
27	久保 勝幸	専任			
老年学	8	伊藤 俊一	専任		
人間発達学	4	佐藤 拓也	専任		
	4	仙石 泰仁	兼任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	精神障害基礎論	2	松田 竜幸	専任
			6	荻野 裕介	兼任
		薬理学概論	8	森 満	専任
		医学概論	8	森 満	専任
		リハビリテーション概論	8	伊藤 俊一	専任
		周術期医療基礎論	4	森野 陽	専任
			4	佐藤 明紀	兼任
		内部障害基礎論	8	森野 陽	専任
		運動器障害基礎論	8	小林 巧	専任
			8	小林 匠	専任
			7	大坪 英則	兼任
		中枢神経障害基礎論	15	久保田 健太	専任
		発達障害基礎論	4	佐藤 拓也	専任
			4	館 延忠	専任
		医用画像解析学概論	8	渡邊 良晴	兼任
		臨床心理学	15	小山 充道	専任
		医療安全管理学	5	信太 雅洋	専任
1	森野 陽		専任		
2	和田 龍彦		兼任		
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション概論	8	伊藤 俊一	専任
		公衆衛生学	8	森 満	専任
		福祉介護概論	8	町田 丸美	兼任
		在宅リハビリテーション学	8	盛 雅彦	兼任
		言語聴覚療法概論	8	北風 祐子	兼任
		健康増進障害予防概論	15	伊藤 俊一	専任
		健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)	15	伊藤 俊一	専任
			15	小川 峻一	専任
		健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)	15	伊藤 俊一	専任
15	小川 峻一		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	基礎理学療法学	理学療法概論	5	小林 巧	専任
			1	森野 陽	専任
			1	世古 俊明	専任
			1	小川 峻一	専任
		日常生活活動学(理学療法)	8	久保田 健太	専任
			8	山中 正紀	専任
			14	小川 峻一	専任
		物理療法学	30	佐藤 公博	専任
		義肢装具学(理学療法)	15	山中 正紀	専任
		理学療法研究法	8	隈元 庸夫	専任
		理学療法研究法演習(卒業研究)	60	小林 巧	専任
			60	伊藤 俊一	専任
			60	信太 雅洋	専任
			60	山中 正紀	専任
			60	隈元 庸夫	専任
			60	小林 匠	専任
			60	久保田 健太	専任
			60	世古 俊明	専任
			60	森野 陽	専任
			60	佐藤 公博	専任
			60	伊藤 俊輔	専任
			60	小川 峻一	専任
		理学療法管理学	8	佐藤 公博	専任
		理学療法ゼミ I	15	小林 巧	専任
			15	伊藤 俊一	専任
			15	信太 雅洋	専任
			15	山中 正紀	専任
			15	隈元 庸夫	専任
			15	小林 匠	専任
			15	久保田 健太	専任
			15	世古 俊明	専任
			15	森野 陽	専任
15	佐藤 公博		専任		
15	伊藤 俊輔		専任		
15	小川 峻一		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	基礎理学療法学	理学療法ゼミⅡ	30	小林 巧	専任
			30	伊藤 俊一	専任
			30	信太 雅洋	専任
			30	山中 正紀	専任
			30	隈元 庸夫	専任
			30	小林 匠	専任
			30	久保田 健太	専任
			30	世古 俊明	専任
			30	森野 陽	専任
			30	佐藤 公博	専任
			30	伊藤 俊輔	専任
			30	小川 峻一	専任
			国際医療支援論	8	内藤 順子
専門	理学療法管理学	理学療法管理学	8	佐藤 公博	専任
専門	理学療法評価学	理学療法基礎評価学Ⅰ	15	小林 巧	専任
			15	隈元 庸夫	専任
		理学療法基礎評価学Ⅰ演習	15	小林 巧	専任
			15	隈元 庸夫	専任
		理学療法基礎評価学Ⅱ	23	小林 巧	専任
			23	隈元 庸夫	専任
		日常生活活動評価学	2	信太 雅洋	専任
			3	山中 正紀	専任
			3	世古 俊明	専任
		日常生活活動評価学演習	24	久保田 健太	専任
			6	山中 正紀	専任
			13	小川 峻一	専任
専門	理学療法治療学	神経障害理学療法学	6	久保田 健太	専任
			9	小塚 直樹	兼任
		神経障害理学療法学演習	30	久保田 健太	専任
		神経障害理学療法学実習	12	久保田 健太	専任
			18	富永 尋美	専任
		運動器障害理学療法学	4	小林 巧	専任
			6	小林 匠	専任
			5	山中 正紀	専任
		運動器障害理学療法学演習Ⅰ	4	小林 巧	専任
			6	小林 匠	専任
			5	山中 正紀	専任
		運動器障害理学療法学演習Ⅱ	15	小林 巧	専任
14	小林 匠		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	理学療法治療学	内部障害理学療法学	5	森野 陽	専任
			7	信太 雅洋	専任
			4	小山 昭人	兼任
		内部障害理学療法学演習 I	15	森野 陽	専任
			内部障害理学療法学演習 II	13	信太 雅洋
		2		近藤 和夫	兼任
		ケーススタディー	9	伊藤 俊輔	専任
			6	世古 俊明	専任
		スポーツ傷害理学療法学	5	小林 匠	専任
			3	山中 正紀	専任
		高齢者理学療法学	8	世古 俊明	専任
		神経筋疾患理学療法学	8	久保田 健太	専任
		神経障害理学療法学特論	7	伊藤 俊輔	専任
			8	小川 峻一	専任
			2	富永 尋美	専任
		運動器障害理学療法学特論	15	小林 匠	専任
		内部障害理学療法学特論	8	信太 雅洋	専任
			7	森野 陽	専任
		生活行為向上リハビリテーション論	15	金谷 匡紘	兼任
		専門	地域理学療法学	地域理学療法学	7
8	黒田 真介				兼任
生活環境学 (理学療法)	8			信太 雅洋	専任
	7			蛭間 基夫	兼任
専門	臨床実習	臨床見学セミナー (理学療法)	/	小林 巧	専任
			/	伊藤 俊一	専任
			/	信太 雅洋	専任
			/	山中 正紀	専任
			15	隈元 庸夫	専任
			/	小林 匠	専任
			/	久保田 健太	専任
			/	世古 俊明	専任
			/	森野 陽	専任
			/	佐藤 公博	専任
			15	伊藤 俊輔	専任
			/	小川 峻一	専任
			/	富永 尋美	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	臨床実習	臨床見学実習 (理学療法)	/	小林 巧	専任
			/	伊藤 俊一	専任
			/	信太 雅洋	専任
			/	山中 正紀	専任
			/	隈元 庸夫	専任
			/	小林 匠	専任
			/	久保田 健太	専任
			/	世古 俊明	専任
			/	森野 陽	専任
			/	佐藤 公博	専任
			/	伊藤 俊輔	専任
			/	小川 峻一	専任
			/	富永 尋美	専任
			/	小林 巧	専任
			/	伊藤 俊一	専任
		/	信太 雅洋	専任	
		/	山中 正紀	専任	
		/	隈元 庸夫	専任	
		/	小林 匠	専任	
		15	久保田 健太	専任	
		15	世古 俊明	専任	
		/	森野 陽	専任	
		/	佐藤 公博	専任	
		/	伊藤 俊輔	専任	
		/	小川 峻一	専任	
		/	富永 尋美	専任	
		臨床評価学実習 (理学療法)	/	小林 巧	専任
			/	伊藤 俊一	専任
			/	信太 雅洋	専任
			/	山中 正紀	専任
/	隈元 庸夫		専任		
/	小林 匠		専任		
/	久保田 健太		専任		
/	世古 俊明		専任		
/	森野 陽		専任		
/	佐藤 公博		専任		
/	伊藤 俊輔		専任		
/	小川 峻一		専任		
/	富永 尋美		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員		
				氏名	職名 (専任・ 兼任)	
専門	臨床実習	臨床治療学セミナーⅠ (理学療法)	/	小林 巧	専任	
			/	伊藤 俊一	専任	
			/	信太 雅洋	専任	
			/	山中 正紀	専任	
			/	隈元 庸夫	専任	
			15	小林 匠	専任	
			/	久保田 健太	専任	
			/	世古 俊明	専任	
			/	森野 陽	専任	
			/	佐藤 公博	専任	
			/	伊藤 俊輔	専任	
			15	小川 峻一	専任	
			/	富永 尋美	専任	
			臨床治療学実習Ⅰ (理学療法)	/	小林 巧	専任
				/	伊藤 俊一	専任
		/		信太 雅洋	専任	
		/		山中 正紀	専任	
		/		隈元 庸夫	専任	
		/		小林 匠	専任	
		/		久保田 健太	専任	
		/		世古 俊明	専任	
		/		森野 陽	専任	
		/		佐藤 公博	専任	
		/		伊藤 俊輔	専任	
		/		小川 峻一	専任	
		/	富永 尋美	専任		
		臨床治療学セミナーⅡ (理学療法)	/	小林 巧	専任	
/	伊藤 俊一		専任			
/	信太 雅洋		専任			
/	山中 正紀		専任			
/	隈元 庸夫		専任			
15	小林 匠		専任			
/	久保田 健太		専任			
/	世古 俊明		専任			
/	森野 陽		専任			
/	佐藤 公博		専任			
/	伊藤 俊輔	専任				
15	小川 峻一	専任				
/	富永 尋美	専任				

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	臨床実習	臨床治療学実習Ⅱ (理学療法)	/	小林 巧	専任
			/	伊藤 俊一	専任
			/	信太 雅洋	専任
			/	山中 正紀	専任
			/	隈元 庸夫	専任
			/	小林 匠	専任
			/	久保田 健太	専任
			/	世古 俊明	専任
			/	森野 陽	専任
			/	佐藤 公博	専任
			/	伊藤 俊輔	専任
			/	小川 峻一	専任
/	富永 尋美	専任			

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	8	佐々木 努	専任
		作業学概論	8	佐々木 努	専任
		作業分析学	22	榮 志津江	専任
			8	宮城 由美子	兼任
		作業療法研究法	8	佐々木 努	専任
		作業療法研究法演習 (卒業研究)	60	佐々木 努	専任
			60	山田 恭平	専任
			60	三宅 環	専任
			60	松田 竜幸	専任
			60	久保 勝幸	専任
60	佐藤 拓也		専任		
60	泊り 由希子	専任			
作業療法管理学	8	三宅 環	専任		
国際医療支援論	8	内藤 順子	兼任		
専門	作業療法管理学	作業療法管理学	8	三宅 環	専任
専門	作業療法評価学	作業療法評価学 (身体・老年期障害)	8	山田 恭平	専任
		作業療法評価学演習 I (身体・老年期障害)	15	久保 勝幸	専任
		作業療法評価学演習 II (身体・老年期・発達障害)	7	三宅 環	専任
			6	久保 勝幸	専任
		2	佐藤 拓也	専任	
		作業療法評価学 (精神障害)	8	松田 竜幸	専任
			8	泊り 由希子	専任
		作業療法評価学演習 III (精神障害)	9	松田 竜幸	専任
			9	泊り 由希子	専任
		6	森元 隆文	兼任	
作業療法評価学 (発達障害)	8	佐藤 拓也	専任		
作業療法評価学 (高次脳機能障害)	8	佐々木 努	専任		
作業療法評価学演習 IV (高次脳機能障害)	15	佐々木 努	専任		
専門	作業療法治療学	日常生活活動学 (作業療法)	12	山田 恭平	専任
			3	佐藤 拓也	専任
		日常生活活動学 (作業療法) 演習	13	山田 恭平	専任
			2	佐藤 拓也	専任
		義肢装具学 (作業療法)	13	長南 行浩	兼任
			2	郷 一紀	兼任
		義肢装具学 (作業療法) 演習	6	長南 行浩	兼任
			2	郷 一紀	兼任
		社会生活行為学	2	山田 恭平	専任
			2	佐々木 努	専任
4	仙石 泰仁		兼任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	作業療法治療学	身体障害作業治療学	5	三宅 環	専任
			2	佐々木 努	専任
			2	久保 勝幸	専任
			1	佐藤 公博	専任
			1	秦 健一郎	兼任
			2	渋谷 保紀	兼任
			2	長南 行浩	兼任
		精神障害作業治療学	9	松田 竜幸	専任
			10	泊り 由希子	専任
			5	森元 隆文	兼任
		発達障害作業治療学	15	佐藤 拓也	専任
		老年期障害作業治療学	15	久保 勝幸	専任
		高次脳機能障害作業治療学	8	佐々木 努	専任
		総合事例演習	13	三宅 環	専任
			8	久保 勝幸	専任
			4	佐々木 努	専任
			5	山田 恭平	専任
			8	佐藤 拓也	専任
			14	松田 竜幸	専任
			14	泊り 由希子	専任
		総合実技演習	16	山田 恭平	専任
			8	佐々木 努	専任
			10	佐藤 拓也	専任
			10	松田 竜幸	専任
			10	泊り 由希子	専任
		作業療法特別セミナー	23	佐藤 拓也	専任
		特別支援教育概論	8	堀江 聡美	兼任
		箱づくり法	8	松田 竜幸	専任
		身体・老年期障害作業治療学特論	8	三宅 環	専任
			8	伊藤 隆	兼任
精神障害作業治療学特論	6	松田 竜幸	専任		
	3	泊り 由希子	専任		
発達障害作業治療学特論	8	佐藤 拓也	専任		
生活行為向上リハビリテーション論	15	金谷 匡紘	兼任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	地域作業療法学	生活環境学 (作業療法)	11	久保 勝幸	専任
			4	鈴木 絵美	兼任
		地域作業療法学	15	浅野 友佳子	兼任
専門	臨床実習	臨床見学セミナー I (作業療法)	15	佐々木 努	専任
			6	佐藤 拓也	専任
			6	松田 竜幸	専任
		臨床見学実習 I (作業療法)	/	佐々木 努	専任
			/	山田 恭平	専任
			/	三宅 環	専任
			/	松田 竜幸	専任
			/	久保 勝幸	専任
			/	佐藤 拓也	専任
			/	泊り 由希子	専任
		臨床見学セミナー II (作業療法)	15	久保 勝幸	専任
			/	山田 恭平	専任
			/	三宅 環	専任
		臨床見学実習 II (作業療法)	/	久保 勝幸	専任
			/	山田 恭平	専任
			/	三宅 環	専任
			/	佐々木 努	専任
			/	佐藤 拓也	専任
			/	松田 竜幸	専任
		臨床評価学セミナー (作業療法)	15	山田 恭平	専任
			/	佐々木 努	専任
			/	三宅 環	専任
			/	松田 竜幸	専任
			/	久保 勝幸	専任
/	佐藤 拓也		専任		
/	榮 志津江		専任		
/	泊り 由希子		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門	臨床実習	臨床評価学実習 (作業療法)	/	山田 恭平	専任
			/	佐々木 努	専任
			/	三宅 環	専任
			/	松田 竜幸	専任
			/	久保 勝幸	専任
			/	佐藤 拓也	専任
			/	泊り 由希子	専任
		臨床治療学セミナー I (作業療法)	8	佐藤 拓也	専任
			4	佐々木 努	専任
			12	久保 勝幸	専任
			12	山田 恭平	専任
			10	三宅 環	専任
			10	松田 竜幸	専任
			10	泊り 由希子	専任
		臨床治療学実習 I (作業療法)	/	佐藤 拓也	専任
			/	佐々木 努	専任
			/	久保 勝幸	専任
			/	山田 恭平	専任
			/	三宅 環	専任
			/	松田 竜幸	専任
			/	泊り 由希子	専任
		臨床治療学セミナー II (作業療法)	8	佐藤 拓也	専任
			4	佐々木 努	専任
			12	久保 勝幸	専任
			12	山田 恭平	専任
			10	三宅 環	専任
			10	松田 竜幸	専任
			10	泊り 由希子	専任
		臨床治療学実習 II (作業療法)	/	佐藤 拓也	専任
			/	佐々木 努	専任
/	久保 勝幸		専任		
/	山田 恭平		専任		
/	三宅 環		専任		
/	松田 竜幸		専任		
/	泊り 由希子		専任		

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療提供施設、医療提供施設以外の施設、又は訪問リハ・通所リハの見学 臨床見学実習（理学療法）	1年前期	リハビリテーション概論	1年前期
		理学療法概論	1年前期
医療提供施設、医療提供施設以外の評価の実践、訪問リハ又は通所リハの見学 臨床評価学実習（理学療法）	3年後期	理学療法基礎評価学Ⅰ	2年前期
		理学療法基礎評価学Ⅰ演習	2年前期
		理学療法基礎評価学Ⅱ	2年後期
医療提供施設、医療提供施設以外の治療の実践、訪問リハ又は通所リハの見学 臨床治療学実習Ⅰ（理学療法） 臨床治療学実習Ⅱ（理学療法）	4年前期	神経障害理学療法学	3年前期
		神経障害理学療法学演習	3年前期
		神経障害理学療法学実習	3年後期
		運動器障害理学療法学	3年前期
		運動器障害理学療法学演習Ⅰ	3年前期
		運動器障害理学療法学演習Ⅱ	3年後期
		内部障害理学療法学	3年前期
		内部障害理学療法学演習Ⅰ	3年前期
内部障害理学療法学演習Ⅱ	3年後期		
医療提供施設の見学又は医療提供施設以外の見学 臨床見学実習Ⅰ（作業療法）	1年前期	作業療法概論	1年前期
		臨床見学セミナーⅠ（作業療法）	1年前期
訪問リハ又は通所リハの見学 臨床見学実習Ⅱ（作業療法）	2年前期	臨床見学セミナーⅡ（作業療法）	2年前期
医療提供施設、医療提供施設以外（老人保険施設、老人福祉施設、児童福祉施設など）の評価の実践 臨床評価学実習（作業療法）	3年後期	作業療法評価学（身体・老年期障害）	1年後期
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体・老年期障害）	2年前期
		作業療法評価学演習Ⅱ（身体・老年期・発達障害）	2年後期
		作業療法評価学（精神障害）	2年後期
		作業療法評価学演習Ⅲ（精神障害）	2年後期
		作業療法評価学（発達障害）	2年後期
		作業療法評価学（高次脳機能障害）	2年後期
作業療法評価学演習Ⅳ（高次脳機能障害）	2年後期		
医療提供施設、医療提供施設以外（老人保険施設、老人福祉施設、児童福祉施設など）の治療の実践 臨床治療学実習Ⅰ（作業療法） 臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	4年前期	身体障害作業治療学	3年前期
		精神障害作業治療学	3年後期
		発達障害作業治療学	3年後期
		老年期障害作業治療学	3年後期
		高次脳機能障害作業治療学	3年後期
		総合事例演習	3年後期
		総合実技演習	3年後期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	(1) 学長（委員長） (2) 副学長 (3) 学部長 (4) 学科長 (5) 図書館長 (6) 情報センター長 (7) 学生支援センター長 (8) 事務局長 (9) 前各号に掲げるもののほか、学長が必要と認める者
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	(1) 建学の精神，基本理念並びに教育理念に関する事 (2) 教育活動に関する事 (3) 研究活動に関する事 (4) 教員に関する事 (5) 学生に関する事 (6) 地域貢献に関する事 (7) 事務職員に関する事 (8) 教育研究環境に関する事 (9) 管理運営に関する事 (10) 財政に関する事 (11) その他自己点検・評価に関する事
自己点検・評価結果の公表	https://www.chitose-reha.ac.jp/

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教務委員会
	委員構成等	(1) 学部長 (2) 学科長 (3) 教育支援センター長 (4) 専任教員のうちから学部長が指名する3~4名の者 (5) 前各号に掲げるもののほか、学部長が必要と認める者
	改善の仕組みの実際	改善が生じた場合、共通教育や各専攻で実施される専攻会議で状況と りまとめた後、教務委員会で審議する。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

第三者評価等の結果を自己改善による高等教育の質の向上に反映させるため、①専攻会議で改善のための検討を行い、②教務委員会等の関係委員会での審議、③運営協議会、教授会の意見を聴き、④学長が改善を実施する体制（内部質保証のシステム）を構築している。